



「金婚祝・敬老会」と「二十歳を祝う会」を催しました。いずれも岐阜市からの委託を受けた事業で敬老会の式典は令和五年九月十六日に明德公民館で、二十歳を祝う会は本郷

二つの祝賀行事を開催
 明德自治会連合会会長 北島 良介

明德しなさわぐるみ

発行
 明德自治会連合会
 社会福祉協議会明德支部
 明德まちづくり協議会

校区と合同で令和六年二月七日にグラウンドビル岐山にて催しました。敬老会は八十歳以上の方が対象で、全員にお祝いの品として海苔茶漬けセットをお贈りしました。八十歳・八十八歳の方には、コロナ禍の影響もあつて四年ぶりに開催しました明德公民館での式典にご招待し、二十名の方が小学生の祝いの言葉やプロの奏者による生のフルート演奏の余興を楽しんでいただきました。この敬老会は、ご長寿をお祝いし末永いご健康を願い、そして昭和・平成・令和の時代を過ごし、多くのご苦労をされながら今日の明德の町を築かれ、そして生活をされてこられました方々に、改めて感謝をする会です。今、世の中には多くの健康施設・趣味の会などの福祉施設・サークルがあります。これからも、これらを利用していただき、末永く健康で楽しい日々



を送っていただきたいものと思います。最後に出席者全員に花束をお贈りし、式典は賑やかに終了しました。

二十歳を祝う会は明德校区十二名を含む六十五名の方が大切な門出の式典に集いました。今年はずっと自由で、希望と輝きに満ち溢れた新成人の皆さんの笑顔が満ち溢れていました。岐阜市長をはじめ来賓の方々、保護者の方々も多く、誠に賑やかな雰囲気の中で開催されました。

今年も新年早々能登半島大震災が発生し、人的物的な被害をもたらしました。皆さんは、このような不測の事態に遭遇しても新しい考え方や適切な判断で進む道を間違えずに進んで行ってほしいと思います。

式典は市長、小中学校の校長や恩



師の方からの祝辞に続き、男女各二名の新成人による謝辞と記念写真撮影がありました。

久しぶりに会った同級生達の短めの振袖にブーツ、体格のがっちりとしたスーツ姿、輝くドレス姿などが、あちこちで会話がはずみ恩師を囲んだ茶話会まで続いていました。



二十歳のつどい

令和6年1月7日 ホテルグランヴェール

賑わう餅つき大会

明德まちづくり協議会主催の恒例行事「餅つき大会」が二月二十一日に開催されました。

前日まで悪天候が続きましたが当日の天候が危ぶまれヤキモキしましたが、消防団、女性の会、青少年育成会議、子ども会、中央PTA、中央ボランテア、明德公民館、日赤奉仕団、民生委員など明德自治会の多くのご協力でスムーズに準備が整いました。



開始時間三十分前まで小雨まじりで来場者もまばらで心配しましたが、天気も回復し続々と参加者が集まりました。例年は公民館前が会場でしたが今年是天候の心配から体育館を使用して開会式を。杉山まちづくり協議会会長の発声で餅つき大会が始まりました。

昔は街中で目にするのが多かった餅つきも今では貴重な行事。子供たちにとっても貴重な体験で餅つき希望者は常に行列となりました。子供用の杵があるので小さな子でも一人です手につけましたよ。餅の返しはベテランの立木さん、リズムよく餅の状態を見ながら絶妙に返していきます。

餅は毎年好評の「天狗堂」さんから中央中学校ボランテアさんが運んでくれました。つきあがったお餅は女

性の会を中心に中学生ボランテアも大活躍で二口サイズに丸めて「きな粉」「あんこ」「大根おろし」「ぜんざい」と一緒に楽しみました。つきたてのお餅は柔らかくて本当に美味しいですね。

昨年用意した餅が九白分で少し少なかったとのことで今年は十二白分が用意されました。たくさん用意したのに天候が・・・と心配しましたが子供たちが次々とつき、女性陣がテキパキと加工をする抜群のコンビネーションで二時間ほどでみんなの胃袋に消えていきました。小学生の女の子で十三個食べたというツワモノも。

餅つきの後は会場を体育館に移してじゃんけん大会です。一等・二等・参加賞とお菓子の詰め合わせをたくさん用意しました。大人も子供もみ



んな真剣勝負で大盛り上がりです。参加者全員にお菓子が渡り、大満足で終了となりました。



美味しいお餅を食べて笑顔。仲間や友達と話して笑顔。お土産をもらって笑顔。そしてそんな参加者を見て笑顔と笑いと喜びが溢れる本当に良い餅つき大会だったと思います。

参加していただいた皆様ありがとうございます。そしてご協力いただいた皆様本当に感謝しています。来年もみんなが楽しい餅つき大会に期待してくださいね。

(広報部会 大熊伸哉)

自転車の交通安全について 警察の方にお話を聞きました

二月某日、岐阜中警察署、交通第一課交通総務係長の北角警部補に自転車の交通安全についてお話を伺ってきました。



令和五年四月二日、改正道路交通法により、ヘルメット着用が努力義務になったことは皆さんご承知のことだと思います。ヘルメットを着用している人をちらほら見かけるようになりましたが、着用率は一〜二割と非常に低いとのこと。年齢にかかわらず自転車利用者全員に着用してほしいのはもちろんですが、今一番に着用してほしいのは高校生と高齢者だそうです。

北角警部補のお話によると、昨年の夏、この地域でも車と自転車が衝突し、自転車に乗っていた高齢女性が頭をアスファルトにぶつけ、植物状態



になってしまったという事故があり、「ヘルメットさえかぶっていたら…」という事例を目の当たりにされたそうです。ところで、自転車安全利用五則というものがあつたのを存じですか。

『1. 車道が原則、左側を通行／歩道は例外、歩行者優先（この辺りの地域は例外のため歩道通行可） 2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認 3. 夜間はライトを点灯 4. 飲酒運転は禁止 5. ヘルメットを着用』

明德地区は自転車や車の交通量が多く、1の歩行者優先と2の一時停止を特に守ってほしい、とのことでした。なお、歩行者優先とは、歩行者がいたらずに停止できる速度で通行し、また歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければならぬということです。今現在、自転車の交通違反者に対

して反則金を課す青切符が切られることはありませんが、今後二〜三年で車と同じように青切符による取り締まりの導入を検討中とのことでした。事故を起こさないために交通ルールを遵守し、万が一事故にあつてしまった場合に備えてヘルメットを着用するなど、今一度、交通安全について考えてみてはいかがでしょうか。

（広報部会 伊藤幸子）



《岐阜県自転車条例について》



編集後記

明郷小学校で開催された「国際PTA集いの会」に参加しました。中心部である明德本郷地区にはフィリピン・中国をはじめ戦火を逃れて避難してきたウクライナの児童も登校しています。子供たちは学校で仲良く学習していますが、先生と保護者や日本人保護者との交流が無いため今回はフィリピン料理を作って味わう交流会となりました。



会場の家庭科室からの美味しそうな香りに誘われて児童たちも飛び入り参加して賑やかに。日本の料理と違ってスパイシーな美味しさとタガログ語と日本語が上手く混ざった楽しさが印象に残りました。

近年スポーツ界では外国にルーツを持つ日本国籍選手の活躍が目立ちます。見た目が日本人と違って目立って背負って戦う姿に勇気をもらいます。近い将来我が明德地区からも各界で活躍する人が出てくるかもしれません。国際化という言葉は案外身近なところにあるのだと感じました。

